



淀川水系宇治川 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ【現況河道】

浸水深0.5m(床上浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示

1. 説明文
- (1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深0.5m(床上浸水相当)以上）を示した図面です。
  - (2) この水害リスクマップは、現況の宇治川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））、年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3%））、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））、年超過確率1/150（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150（0.7%））の降雨に伴う洪水により宇治川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。
  - (3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（昭和47年9月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。
  - (4) 想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成29年6月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。
2. 基本事項等
- (1) 公表年月日 令和5年3月17日
  - (2) 作成主体及び対象となる河川  
・国土交通省近畿地方整備局 淀川河川事務所：淀川水系宇治川
  - (3) 実施区間  
【淀川河川事務所】  
・淀川水系宇治川 左岸：京都府宇治市宇治塔川36番の2地先から桂川、宇治川、木津川三川の合流点まで  
右岸：京都府宇治市宇治紅苅25番の8地先から桂川、宇治川、木津川三川の合流点まで
  - (4) 算出の前提となる降雨  
・年超過確率1/10（宇治川流域の9時間の総雨量114mm）  
・年超過確率1/30（宇治川流域の9時間の総雨量136mm）  
・年超過確率1/50（宇治川流域の9時間の総雨量146mm）  
・年超過確率1/100（宇治川流域の9時間の総雨量158mm）  
・年超過確率1/150（宇治川流域の9時間の総雨量165mm）
  - (5) 河道条件：現況
  - (6) 関係市町村 京都市、宇治市、城陽市、八幡市、久御山町
- ※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

凡例

浸水深0.5m(床上浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示

- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 中低頻度 (1/100)
- 低頻度 (1/150)
- 想定最大規模
- 洪水浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川
- 河川等範囲
- 市区町境界

想定最大規模の浸水範囲は淀川水系淀川からの氾濫による範囲を含んでいます